

「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/shakyo



編集・発行 季刊
社会福祉法人
横須賀市社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264

平成19年
10月
No.113

2007 市制100周年
横須賀が好き!



赤い羽根
共同募金
10月1日▶12月31日
今年もよろしく
おねがいします。

～いざという時のためにも～

共同募金は、地域福祉活動の推進を目的とした募金で、神奈川県内で寄付された募金は、基本的には県内で配分することが決められていますが、例外があります。

それは「災害準備金」といわれるもので、災害発生時の緊急的なボランティア活動などの支援をするため、赤い羽根募金に寄せられた寄付金の一部を積み立てています。

この「災害準備金」は、今年7月に起こった新潟県中越沖地震の際にも、神奈川県共同募金会から配分が行われました。

災害ごとの義援金も、共同募金会は受付窓口の一つとなっていますが、10月に皆様からご寄付いただいている赤い羽根共同募金からも、被災地のため、いざという時のために、役立てられているのです。

今年のポスターのモデルは石橋 杏奈さん(15才)です。



本紙2頁に掲載されている「子育てサロン」は、市内の各地区で行われています。お年寄りのための「ふれあ

い・いきいきサロン」もあわせ、地区社会福祉協議会が行っている各種サロン活動をはじめ、様々な活動にも、共同募金は役立てられています。



写真：長井地区社会福祉協議会の子育てサロン

大盛況! 子育てサロン くりはま

久里浜の中央通り商店街の一角にある久里浜地区社会福祉協議会(久里浜地区社協)の事務所。普段は、地域の民生・児童委員や社会福祉推進委員、町内会・自治会関係者、ボランティアなどが出入りし、久里浜地区の福祉のまちづくりのためにさまざまな地域福祉活動に取り組みための重要な拠点になっています。

その事務所も、毎月第1・3金曜日の午前中は床にカラフルなマットが敷き詰められるなど「子育てサロン くりはま」に模様替えされ、乳幼児やお母さんたちで大賑わい!

久里浜地区社協の児童福祉部門では、0歳から2歳の子どもや母親の行き場が少ないといったことや子育てに不安を感じている親たちも多い一方で、地域にはこつ



台風9号通過直後にもかかわらず開催!参加者からは「ありがたいです。ずっと続けてほしい」との嬉しい声。



いつもは20組ほどの親子が参加しますが、今日は2組の親子で貸切状態!

した親子を応援できる、あるいは応援したい人たちが必ずいるはず、といったことが話し合いの場で出ていました。そこで、まず取り組んだのが応援してくれる担い手の確保。平成17年に「子育て応援団員養成講座」を開催し、講座終了後に受講者メンバーによる「子育てサポート結」を結成しました。平成18年には、このメンバーが中心になって子育てサロン立ち上げに向けた話し合いを重ね、そして平成19年6月1日に誕生したのが「子育てサロン くりはま」なのです。

「子育てサロン くりはま」は、親子がゆったり自由に過ごせる場、育児をするお母さんたちの出会いやおしゃべ

りの場、育児への不安や悩みを誰かに聞いてもらうための場になっています。申込みや費用も不要で、「これからお母さんになる人もどうぞ」と敷居も低い。子育てサポート結のメンバーは、いわゆる子育ての先輩であり、「先輩お母さん」でもあるので、「後輩ママ」としては安心、安心。このサロンは、4頁に掲載されている市社協の布えほん・布おもちゃ製作貸出事業ともうまくつながっていて、よこすか布おもちゃグループ「ポケット」のボランティアが心をこめてつくった布の手づくりおもちゃも活用しています。とにかく、子どもやお母さんたちにやさしいサロンなのです。



参加者とサポート結のみなさん

サロンいろいろ

横須賀市内には、「子育てサロン くりはま」のような乳幼児と子育て中のお母さんたちの「子育てサロン」、お年寄りを対象とする「ふれあい・いきいきサロン」など、155のサロンがあります。これらのサロンの中で最も多く行われているのは、お年寄りが集う「ふれあい・いきいきサロン」ですが、町内の人なら誰でもOKといったサロンもあり、飽きない工夫をこらしたプログラムをみんなで企画しているところから、お茶を飲みながら楽しくおしゃべりするところまでその内容はさまざま。

主に地域の町内会館を会場としているサロンが多い中で、小学校などの公共の施設や個人宅を会場としているところもあります。参加費は、1回100円から300円程度ですが、無料のサロンも多くあります。

これらのサロンに概ね共通しているのは、主に地域の地区社会福祉協議会がサロン活動を推進していること、民生委員児童委員、主任児童委員、社会福祉推進委員、ボランティア、町内会・自治会役員などの地域の人たちがサロンを運営していること。それと、地域の中での仲間づくりを目的としていることです。

サロンの参加対象をはじめ、開催日時・会場、参加費などは地域のサロンごとに異なりますので、サロンに足を運んでみようかなという方、一人で家で過ごしがちな人などサロンへの参加をお勧めしたい方などがいらっしゃいましたら、市社協までお気軽にお問い合わせ下さい!

「ふれあい・いきいきサロン」「子育てサロン」
についてのお問合せは…

市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL.821-1301



よこすか福祉の輪市民会議が県立保健福祉大学に進出！

「第4回 福祉の輪のつどい」開催 参加者募集!!

よこすか福祉の輪市民会議では、地域に“福祉の輪”を広げていくために市民が集まろうという目的で、「福祉の輪のつどい」を開催します！今年は県立保健福祉大学の学園祭「うみかぜ祭」の中での開催ということもあり、幅広い世代の参加を期待しています。市民会議のパネル展示や、高齢者疑似体験などさまざまな企画を行います。



地元ヨコスカの大学に足を運んでみよう!

- 〈日 時〉 11月3日(土) 10時～16時 参加自由！
 〈場 所〉 神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町1-10-1)
 教育研究棟4階 大講義室453(予定)
 〈問合せ〉 よこすか福祉の輪市民会議合同事務局
 ★市健康福祉総務課 TEL.822-8267
 ★市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL.821-1301

里親制度を知ろう

子育てを支援する制度の一つに「里親制度」があるのをご存知ですか？

「里親」とは、親の離婚や病気などさまざまな事情で、どうしても家族と一緒に生活することができない子どもたちを、あたたかい家庭で愛情とまごころを込めて養育してくださる方のことです。

未来を担う子どもたちがすくすくと成長していけるように支援する「里親制度」について学んでみませんか？ ぜひご参加ください。

〈日時・場所〉

- ① 11月 3日(土) 総合福祉会館
 - ② 11月10日(土) 春光学園
 - ③ 11月17日(土) 総合福祉会館
- 全3回、いずれも10時から12時

〈内 容〉

- ① 里親制度を知ろう～里親体験談
- ② 児童養護施設を知ろう～施設見学
- ③ 里親家庭で過ごして～里子体験談



〈対 象〉

原則として、横須賀市にお住まいの方で、すべての回に参加できる方

〈主 催〉

横須賀市児童相談所・横須賀市里親会・家庭養育支援センター(春光学園内)

〈申込み・問合せ〉

電話、ファックス、E-Mailのいずれかで、横須賀児童相談所へ(先着順)

TEL.820-2323 FAX.826-4301

E-Mail: cgcp-cfr@city.yokosuka.kanagawa.jp

～ボランティア・市民活動講座～

講演会

「よい聴き手になるために」

ボランティア活動をしていて、市民活動をしていて、仕事をしていて、あるいは日常の生活の中で、人の話を聞く場面は多くあります。その時に、相手の話を聞くことの難しさを感じたことはありませんか？

人の話を聞くには、「聴き方」があります。今回は相手の話を聞くことの大切さを理解するとともに、聴き方についての基本的な事柄について理解する講座です。

〈日 時〉 12月20日(木) 13時30分～15時30分

〈場 所〉 総合福祉会館 5階ホール

〈講 師〉 NPO法人ホールファミリーケア協会
 理事長 鈴木 絹英 氏

〈主 催〉 横須賀市社会福祉協議会
 ボランティアグループ「よこすか傾聴の会」

〈参加費〉 無 料

〈定 員〉 200名(先着順)

〈申込み〉 電話・ファックス・E-Mailのいずれかで、よこすかボランティアセンターまで。
 (7頁右上に掲載)

布おもちゃ・布えほん 貸し出ししています。

よこすかボランティアセンターでは、子どもたちに安心して楽しく遊んでもらえる
布おもちゃや**布えほん**を貸し出しています。

毎週金曜日午前9時を少し過ぎたころ、「おはようございます」との明るい声とともに、よこすか布おもちゃグループ“ポケット”代表の村上さんがボランティアセンターへやって来ます。

よこすか布おもちゃグループ“ポケット”は、もともと「よこはま布えほんぐるーぶ」で活動をお手伝いしていた村上さんが、横須賀で布おもちゃや布えほんを製作したり、貸し出ししているところが見つからず、よこすかボランティアセンターへ来所した際に、窓口で職員から活動を促されたのがグループを立ち上げようと決意したきっかけ。2名の仲間とグループを立ち上げた当初は、製作に必要な材料がなく、材料を持ち寄ったり、寄付をいただいて材料を購入する等、やりくりして作品制作を続けながら、初めての作品「魚つり」を完成させたとか。平成13年4月より市社協で事業化されたこともあって、講習で会員が増えたり、活動室の利用や材料費の提供が認められ、これまで製作した作品は約50種類にのほります。



よこすか布おもちゃグループ
“ポケット”代表 村上さん



第1号作品 布おもちゃ「魚つり」



開所日：月曜日～土曜日(祝祭日を除く)／9時～17時



場所：よこすかボランティアセンター窓口(総合福祉会館4階)



貸出方法：事前に登録すれば、どなたでもご利用いただけます。一人2作品、1週間まで貸出できます。利用料はかかりません。

※貸出状況により、ご希望する作品が貸出できない場合があります。

製作ボランティア：よこすか布おもちゃグループ“ポケット”

問い合わせ先：よこすかボランティアセンター

TEL.046-821-1303/FAX.046-824-8110

E-mail：shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp



ローンセンター

ローンのことならなんでもご相談ください。

- 住宅金融公庫・年金住宅融資、住宅ローン、消費者ローンなど

TEL 046-821-1704 (代) Fax 046-821-4341

平日及び土曜日・日曜日：午前9時～午後5時
(但し、祝日および1月1日～3日、12月31日は除きます。)



TRU bank Miura Fujisawa
三浦藤沢信用金庫
http://www.shinkin.co.jp/miurafuj

くらしの相談室

まずはお電話でお気軽にご相談ください。

- 毎日の暮らしで困ったことや知りたいこと(金融以外のことでも)
- 資金運用やご融資のこと、企業経営のことなど

フリーダイヤル 0800-800-1516 中央駅前出張所内
お客様相談室

平日：午前10時～午後7時

土曜日・日曜日・祝日：午前10時～午後5時

今では、50代から70代を中心に53名の会員があり、毎週金曜日の10時から15時まで活動しています。村上さんは、「たくさん子どもたちに、布おもちゃを見たり触ったりすることで楽しんで欲しい。また、布おもちゃで遊ぶ楽しみから、たくさんの方に感動を与え、何かやる気を起こしてもらえきっかけになってくれれば…」と話す。

みなさんも一緒に、見て、触って、遊んで、楽しんでみませんか？



布おもちゃ・布えほん製作中!

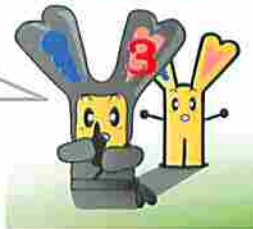
利用者の声

- ★以前は、布おもちゃを貸し出ししていることを知りませんでした。今では、子育てサロンで、子どもたちに楽しく遊んでもらうために貸し出しを利用させてもらっています。布が持つ柔らかさは、とても安心安全ですし、温もりから作り手の愛情を感じさせます。
- ★初めて作品を見て、触って、遊んで、すごく感動したことを思い出します。子どもと一緒に、おもちゃを楽しませていただきました。

ボランティアと一言でいっても、いろいろなボランティアがあります。何も福祉分野だけでなく、国際、環境、災害など、その範囲、その内容は多種多様です。例えば、赤い羽根共同募金に募金したり、団体の賛助会員になることも一つのボランティアと言えます。この「布おもちゃ・布えほん製作貸出事業」も、賛助会員の皆さまの会費が貴重な財源になっており、製作は「よこすか布おもちゃグループ「ポケット」」のボランティアの協力によって支えられています。

賛助会員の紹介

賛助で参上!
社協活動応援団



「賛助会員募集中」

★お名前とご住所を、表紙にある連絡先へ、電話ががき、FAX、Eメール等でお伝えください。三浦福沢信用金庫と三浦信用金庫の振込用紙(両信用金庫の協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。

団体会員 一口5000円
個人会員 一口1000円

会費は年会費となっております。お一口数は何口でも結構です。

平成19年6月1日〜8月31日

〈順不同・敬称略〉

★団体(25団体)

(株)エイワイ、松月製菓(有)、西田装美(株)、日洋物産(株)、雑質屋不動産(株)、(有)山仙商店、(株)マスタ、(有)石塚商店、神奈川県美容生活衛生同業組合横須賀中央支部、横須賀落語愛好会、横須賀個人タクシードライバー会、(財)電力中央研究所すみれ会、(株)美装、竹内自動車工業(株)、ハンド・ニットの会、ボランティアグループなつめ、洒落井会、ミーズ設計連合協同組合、(社)神奈川県建築士事務所協会横須賀支部、ハートワーク委員会、サニーステジ野比海岸、太陽の家、シャローム、太陽の家二番館

★個人(120名)

中條雅則、笹原鶴夫、阿部玲子、白石稔、後藤理、徳永淑子、田中幸子、中村みち、長瀬キリ、小川リヨ子、木内茂夫、關澤友治郎、關澤和子、山中静代、大坪輝子、永山良文、荒吉見、小泉浩康、小泉真理子、藤間信明、金子三子、高橋和代、鈴木燕二、鈴木輝子、小峯洋子、大竹一之、渡辺繁子、小崎幸枝、久保田朋恵、山崎公恵、石塚美代子、高橋や工子、東一志、井上祐一、窪田幸次、芳賀明光、飯野雄彦、武内宏、大久保貞子、渡辺俊雄、神崎瑞枝、長嶋利夫、齊藤稔、倉科睦子、喜多十三雄、綿岡輝雄、井出美佐子、外岡幸吉、西村忠、西村久子、野口富江、江川正美、江川静子、三木早苗、岸岳、岸美千代、淵上勝啓、淵上隆子、浅羽隆、山口浩、大原佳夫、大原真弓、田中利子、井上豊子、小野久美江、吉村久子、二見道乃、幡野克二、鈴木喜代子、手塚武夫、中鉢ナツ、三富錦子、朽木敏子、長養成江、福島梅子、栗田衛、栗田百合子、栗原正而、栗原成子、篠原登茂恵、三浦和子、田中正江、田中清、北川しん、大橋久江、一柳八重、本田孝二、鳥山豊男、鳥山佐代子、氏原信子、永嶋たき江、島田征子、尾崎哲夫、横川和司、田中靖子、秋本龍美、増淵信、赤坂誠司、小林好明、廣瀬章、高橋和雄、小林繁、岩間道夫、龍崎秀雄、鈴木敏和、志野猛彦、亀井純二、濱田千入、松本勇雄、大森治郎、小林利彰、飯島幸夫、齊藤義和、後藤一也、松原廣志、清水昭三、清水君子、齋藤武雄、齋藤勇吉、齋藤ウラ

秋の入会キャンペーン

お試し体験授業 都合の良い曜日とお好きな時間を選んでお試しください。

ジュニア・幼児・ベビークラス	婦人・成人・アクアウォーキング・腰痛クラス
通常授業に入って体験していただけます。 ★回数/4回(週1回曜日指定) ★受講料/幼児・ベビー...5,780円(税込) ジュニア...6,300円(税込)	★回数/4回(フリーチョイス) ★受講料/婦人・成人・腰痛...6,300円(税込) アクアウォーキング...4,200円(税込)

お試し体験授業受講後入会特典

幼児・ジュニアクラス	ベビークラス	婦人・成人・アクアウォーキング・腰痛クラス
特典1 入会金 0円 (指定用品) 特典2 水筒+バッグ プレゼント! 特典3 初月度授業料 1,000円割引	特典1 入会金 0円 (指定用品) 特典2 ヘルパー+スイミングキャップ プレゼント! 特典3 初月度授業料 1,000円割引	特典1 入会金 0円 (指定用品) 特典2 ゴール+スイミングキャップ プレゼント! 特典3 初月度授業料 1,000円割引

団塊世代の皆様へく“先輩ボラ”へのインタビュー!④



個人ボランティア大滝淳乃さん(65歳・森崎在住)

○大滝さんがボランティア活動を始めたきっかけは?

ヘルパーの資格を取ったり、地区のボランティアセンターに登録したり、誰かのお手伝いをしたい気持ちはあったけど、仕事がフルタイムだったから声を掛けてもらっても都合がつかなくて、いつも「申し訳ないなあ」って思っていたのね。だから今年3月の定年退職と同時に働くプレッシャーや責任から解放されて、これからはやりたいことをやろうと思って。もともと家族の目ではなくて、自分の目・耳で感じて理解したい性格もあるし。今は「炊事、洗濯、ボランティア」の生活です(笑)。

○そして第1弾がベース(米海軍横須賀基地)でのボランティア活動だったんですね?

ええ。ボランティアニュースの募集記事を見て、長年横須賀に住んでいるのに滅多に入れないベースでしょう。これだ!という感じで、渋る夫を引っぱって2人で参加しました。「ボランティアってこういうことなんだ」って分かったし、何よりすごく楽しかったですね。

○現在のボランティア活動は?

市内の特別養護老人ホーム2ヶ所で書道を教えています。でも指導しているとは思っていないの。お手本どおりに書くとか、段位・級位を取ることが目的でやっている訳ではないから、自由にのびのび書いてもらうのだけど、みなさん味のある字をお書きになるから、こちらもなるほどって感じますね。

それにしても、どちらのボランティアもベースの活動の2カ月後くらいにポンポンって決まったのには自分でも驚きました。今までは(ボランティア活動を)遠くから眺めていただけ、待っているだけじゃだめだと思ってたからすぐに活動できましたので。

○情報をキャッチするアンテナが反応したんでしょうね。ご自身は書道歴が長いのですか?

小学4年生の頃に始めて、子育ての時期は中断しましたが、現在も続けていますよ。そういえば、以前近所の親御さんに頼まれて子どもたちに教えたのも今考えてみればボランティアでしたね。

○ボランティア活動を続けるコツは何だと思いますか?あわせて一言お願いします。

やはり気負わないこと、楽しむこと。自分のつまらないという気持ちは相手にも伝わってしまうから。「人のため」という気持ちが、いっぱいではなくていいから少しでもあれば、行動に移してあげればいい。みんなの少しの気持ちが集まれば円になるでしょう。

それと、自分からはすすんでやらないけれど、頼まれればやってみようという人っていますよね。頼りにされることはまんざらでもないでしょうし。だから近所の方やお友達、家族が誘ってみるとスムーズに始められると思いますね。特にご主人は、奥さんからの声かけが一番効果的です(笑)。

12月3日～12月9日は障害者週間です。

毎年「障害者週間」の期間には、障害のある人たちのことをより多くの人たちに理解してもらうために、全国のいろいろな場所や機会を通じて、国をはじめ全国の自治体、関係団体などによる関連行事が行われています。

横須賀では、市内の関係団体が集まって「障害者週間キャンペーン」を実施します。市内の主要駅で、啓発用のチラシと一緒に、障害のある人たちやボランティアが心をこめてつくった小物を配布します。ボランティアも募集しており、次のページに日程等が掲載されていますので、ぜひ参加してみてください。



住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は
湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本店ローンセンター 0120-413-357

■久里浜ローンセンター 0120-472-195

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

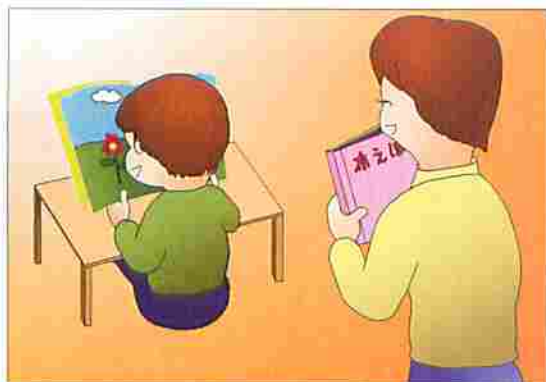
■茅ヶ崎ローンセンター 0120-472-194

SHONAN

湘南信用金庫

ホームページアドレス

<http://www.shinkin.co.jp/shonan>



ボランティアコーナー

よこすかボランティアセンター

開 所 月曜日～土曜日 9時～17時(日曜日と祝日は休み)
 場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1
 汐入駅から徒歩6分「ショッパーズプラザ横須賀」の右となり、
 市立総合福祉会館の4階です。
 電 話 (821) 1303 (825) 0017/FAX(824) 8110
 E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp (お問合せ)
 koza@yokosuka-shakyo.or.jp (講座の申し込み)

ボランティア大募集

★1日または短期間の活動

①募集団体・ふれあい運動会実行委員会

内 容：ふれあい運動会のお手伝い
 日 時：10月14日(日) 8時30分～17時
 場 所：諏訪小学校
 ☆会場設営、交通整理、片付けなど。横須賀市健康福祉事業の一つ
 として毎年行っている障害のある方たちの運動会です。
 雨天の場合は翌週に順延となります。

②募集団体・米海軍横須賀基地MWR

内 容：基地開放日のイベントのお手伝い
 (よこすかみこしパレード)
 日 時：10月21日(日) 9時～16時くらい
 場 所：ベース内
 ☆MWRは福利厚生などを目的とした米軍の互助組織で、開放日の
 イベントを企画・運営しています。
 フードコーナー、ゲームコーナーなどのお手伝い。18歳以上
 の方で体力に自信のある方。パスポート、写真付住民基本台帳カ
 ード、運転免許証のいずれかが必ず必要です。

③募集団体・サークルかえる

内 容：①ふれあい運動会の付き添い
 ②みかん狩りとレクリエーションの補助
 日 時：①10月14日(日)／②11月11日(日)予定
 ＊いずれも9時45分～15時30分
 場 所：①諏訪小学校／②長沢
 ☆知的障害のある社会人グループです。いずれもお弁当持参。
 ②は参加費(500円程度)が必要です。

④募集団体・メロディー

内 容：①外出介助／②クリスマス会、体力測定のお手伝い
 日 時：①11月4日(日) 9時45分～16時
 ②12月2日(日) 9時30分～14時
 場 所：①ソレイユの丘／②総合福祉会館
 ☆ダウン症のお子さんたちのグループです。

★継続的な活動

⑤募集団体・サポートセンターかある

内 容：散歩、作業(刺し子)、レクリエーション、音楽のお手伝い
 日 時：日時は応相談
 場 所：岩戸
 ☆平成19年10月に開所予定の指定障害者生活介護の施設です。

⑥募集団体・水泳スイミー

内 容：遊び相手
 日 時：年に2・3回を予定
 場 所：横須賀市内の体育館
 ☆知的・肢体障害のあるお子さんたちの体育館内
 での遊び相手です。



参加しよう!

～障害者週間キャンペーン～

内 容：障害のある人たちやボランティアがつくった小物と
 啓発用チラシの街頭での配布
 日 時：①12月4日(火)／②12月5日(水) いずれも14時～15時
 場 所：①京急久里浜駅・JR衣笠駅
 ②横須賀中央駅・汐入・追浜駅
 主 催：障害者週間キャンペーン実行委員会
 横須賀市障害者団体連絡協議会
 横須賀・三浦作業所連絡会
 横須賀市ボランティア連絡協議会
 横須賀市社会福祉協議会
 ☆配布用作品と事前準備のボランティアも同時に募集しています。
 詳しくは、よこすかボランティアセンターまでお問い合わせ
 ください。

企画・デザイン・写真撮影から印刷まで

企画からデザイン、写真撮影、印刷、製本までの一貫した
 対応により、スピーディーかつローコスト化を実現します。
 高品質な仕上がりでお客様の要望にお応えします。

・チラシ広告 ・ポスター ・パンフレット ・冊子 ・記念誌
 ・名刺 ・伝票 ・カレンダー ・封筒 ・のぼり旗・幕 ・シール
 ・POP各種 ・販促物取付器具 ・写真撮影 ・ラミネートフィルム
 ・名入れグッズ各種 ・その他印刷物全般



企画・デザイン・印刷・製本
株式会社 アド・ワークス

〒239-0807 神奈川県横須賀市根岸町4-9-13
 TEL.046-833-1010(代) FAX.046-833-0622
 e-mail:eigyoun@e-adworks.com

お気軽にどうぞ相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも市立総合福祉会館2階です。
相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。/ 12時15分〜13時はお昼休みとさせていただきます。

権利擁護相談(弁護士相談)

このようなことで困っていませんか?

- 障害のある子どもに財産を残したい
- 障害のある兄弟が借金の返済を迫られている
- 認知症のある親が知らない間に、高価な買物をしていた

高齢の方、障害のある方の権利を守るための相談に弁護士がお答えします。

【予約制】
事前に職員が相談内容をお伺いします。

● 毎月第3水曜日
13時〜16時
一人45分です。
予約は、TEL(821)3605

生活福祉資金貸付相談

地域における自立生活を支援するため、生活福祉資金貸付相談を受け付けています。

- ① 使用目的別に資金種類があります。(一般生活費は貸付できません)
- ② 地区担当民生委員・児童委員による相談援助活動が行われます。
- ③ 借受人世帯の自立を支援できる連帯保証人が必要です。(市内在住の方)

【完全予約制】 地区民生委員・児童委員とともに相談内容をお伺いいたしますので、来所前に必ずご連絡ください。

● 毎週月・水・金曜日
9時〜17時
予約は TEL(821)1301
地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

● 毎週月曜日〜金曜日
10時〜16時
福祉機器展示場
電話相談
TEL(824)9436

住宅改造相談

お年寄りや障害のある方の住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士会横須賀支部のハートワーク委員会が実施しています(見積書の作成や業者の紹介はできません)。

● 毎月第4水曜日
10時〜15時
予約は TEL(821)1301

第19回 横須賀三浦地区 ふれあい広場

～出会いひろがる みんなの輪～

〈日時〉

11月10日(土) 10時〜14時

〈場所〉

総合福祉会館 5〜7階
(京急汐入駅・JR横須賀駅下車徒歩)

〈内容〉

横須賀・三浦地区の知的に障害を持つ方々と来場される皆様との交流を目的とした催しです。各種アクションや社会福祉施設の作品販売の他、喫茶、模擬店、パソコン写真、ゲームコーナー等を予定しています。

〈その他〉

当日はお車でのご来場はご遠慮ください。

〈問合せ〉

ふれあい広場実行委員会事務局
(県立三浦しらとり園内)
TEL.848-5255 (担当: 高橋・金泉)

ありがとう

社会福祉のために、次の方々から温かい寄付がありました。

平成19年6月1日〜8月31日分
(敬称略)

横須賀マジッククラブ結成15周年記念チャリティマジックショー、海上自衛隊横須賀上級海曹会、恩田美恵子、横須賀市消費生活研究会、浦尻清治、モアナ逗子、三浦藤沢信用金庫、(株)横浜ヘイスターズ、森昌子、バーラー風羅巴、(株)根岸工務店、横川和司、赤坂誠司、小関敏子、三浦半島アーテイススト芸能連盟、富田菜美・鶴が丘社会福祉推進委員、合唱団□□

ズ、匿名5件

宇野智恵、大津地区ボランティアセンター、斎藤茂子、手話サークル逸見、横須賀市シルバー人材センター、徳嶺啓子、中里末子、錦古里純子、松生キヨ子、三浦藤沢信用金庫、山崎峰崇、山田佐智子、渡辺訓宏、匿名3件

寄付金 二十五件

物品 二十五件
一、三四七、九〇一円



あとがき

とりわけ暑かった夏がようやく終わろうとしている頃、両親の墓参りに故郷へ向かった。久しぶりの環台車は、クラーのない我が家よりも快適で、へつすりとお眠ってしまった。

中国山脈をまっすぐ横断する伯備線をガタンゴトンと、ただひたすら北上する列車の音は、四十年前と少しも変わっていない。

自分の身を立て、将来を切り開くと就職列車に乗った十代。この国は、若い力で変えられると少しばかり思い上がった青春時代。遅れをとるまいと、チョッとあせった結婚(？)。パートナーのおばさんをこなしながら、子育てに追われた日々。そして、バブルと知らず無駄遣いを重ねた悔恨の時代。いつの間にか人生の折り返し地点

をどつくに過ぎてしまった「団塊の世代」は、今や歴史の一時代を飾る言葉として、様々な場面で引き合いに出されている。

少し貧乏な海外旅行は、いかでしようか♡のんびりと自給自足の山村移住は♡海外移住は♡品揃えの豊富なデパートでこだわりのお買い物♡などなど。支払われる退職金目当てのお知らせにはいとまがない。しかし、バブル後の緊縮家計が長いがいかに、うっかり乗れない気持ちがいかに止まらざる。

これから長い老後を「団塊の世代」は、どこへ流れて行くのだろうか。世のため人のため、はたまた自分のための市社会福祉協議会が募集する「ボランティア活動」に身を投じるのも、一つの流れ方かもしれない。